



流域治水企画室

NEWS LETTER

第6号

Contents

- P1 第6号発刊にあたって「流域治水は自分事」
- P2 進む浸水被害軽減対策～佐賀市排水対策基本計画～
- P3.4 筑後川改修 100年シンポジウムを開催しました。
- P5.6 これからの流域治水 巨瀬川流域治水推進会議
・筑後川水系巨瀬川緊急治水プロジェクトを公表
- P7.8 天ヶ瀬温泉街復興まちづくり
・実際に温泉街を訪ねて
- P9 海の源流を守る「有明海水源の森、矢部川源流の森」
- P10 久留米DMOの取組み～田主丸・復興応援マルシェ～

筑後川とともに未来へ～みんなで作ろう「筑後川100年物語」～



令和5年(2023年)、
筑後川は本格的な改修が始まって、
100周年を迎えます。

第6号発行にあたって

【令和5年7月豪雨を受けて】
～流域治水は自分事～

筑後川の流域面積は2,860km²と国が管理する九州20の一級水系の中でも最も広く、河川延長は国管理区間延長（17の支派川を含む）だけでも175kmです。流域内人口は110万人と多くの人々が流域内で日々の生活を営んでいます。

流域面積が広く、管理区間が長く、また流域内人口が多いということは、近年の激甚化・頻発化する豪雨による「洪水」・「内水」・「土砂災害」などの被害にあうリスクが非常に高いとも言えます。

筑後川河川事務所では、筑後川水系の治水安全度の向上を図るため、大正12年より本格的に堤防整備や河道掘削、捷水路整備、ダムの整備などハード整備を着実に進めています。一方、ハード対策は予算と時間がかかるため、整備途上で目標とする計画規模の洪水が発生すると、大きな被害を受けます。

そのような中、令和5年7月豪雨により筑後川流域内では約4,700haの浸水被害が発生しました。特に耳納連山では6時間で約300mmという観測史上最大の降雨量を記録しました。その降雨の影響をまともに受ける巨瀬川流域では、家屋浸水が3,000戸を超える甚大な被害となりました。

そのため令和5年8月28日に、久留米市・うきは市・福岡県の各部局・農林水産省・林野庁・気象庁と筑後川河川事務所が参画し、今後起こりうる災害に対し、流域内で出来る限りの対策を議論し策定を目指す「巨瀬川流域治水推進会議」を設置しました。

会議を設置したメリットは、今回の出水被害を踏まえ、関係機関がもっているあらゆる情報を共有することで、巨瀬川流域の将来を見据えた有効な対策が計画実行できることです。併せて、関係者それぞれが、今回の大規模な洪水被害を自分事として捉えることによって、水害や土砂災害を受けてもしなやかに日常生活に戻れるような仕組みも創れることです。

このたび令和5年11月15日の第4回会議で「巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめました。今後は、強靱な地域づくりに向かうための「巨瀬川流域治水対策プロジェクト」をとりまとめる予定です。

最後に、流域に暮らす人々、また観光等で訪れる人々に日常から恵みを与えてくれる筑後川水系とその流域に感謝しながら、流域の皆様と「流域治水」を自分事として取り組んでいきます。

【自己紹介】

- 伊藤 嘉徳
(筑後川河川事務所 流域治水課長)
- 長崎県生まれ
- 前職は佐賀河川事務所調査課長として城原川ダム事業に取り組みました。地元の皆様と日々コミュニケーションを積極的に図り事業を進めてきました。そのような経験から何事も地域の方々との日頃からのコミュニケーションが重要だと実感しました。筑後川流域の皆様の声に積極的に耳を傾けることを心掛けていきます。



事務所屋上に伊藤流域治水課長（中央）と流域治水課R5メンバー

すすむ浸水被害軽減対策 ～佐賀市排水対策基本計画～

佐賀市では、頻発する浸水被害を軽減するため、「佐賀市排水対策基本計画(R2.6改訂)」に沿って、10年に1回程度の降雨に対し、浸水想定面積（建物用地浸水深10cm以上）を50%減とするための、様々なハード対策とソフト対策に取り組まれています。

ハード対策は降った雨水を速やかに「流す」、一時的に「溜める」、排水施設の「新設・改良」で構成されており、段階的に実施されています。併せて既存施設の有効活用など継続して取り組む対策も進められています。

ソフト対策では、「浸水に対する意識の向上」、「防災情報の提供」、「地域コミュニティとの連携」、「災害の拡大防止」を目標として、各種取り組みを実施されています。

様々な取り組みが相互に効果を発揮し、浸水被害の軽減につながっています。

お堀の事前排水

これまでの容量：約1.8万トン
 ➡今年度：約**3.8万トン**容量確保
 (25mプール120杯以上)

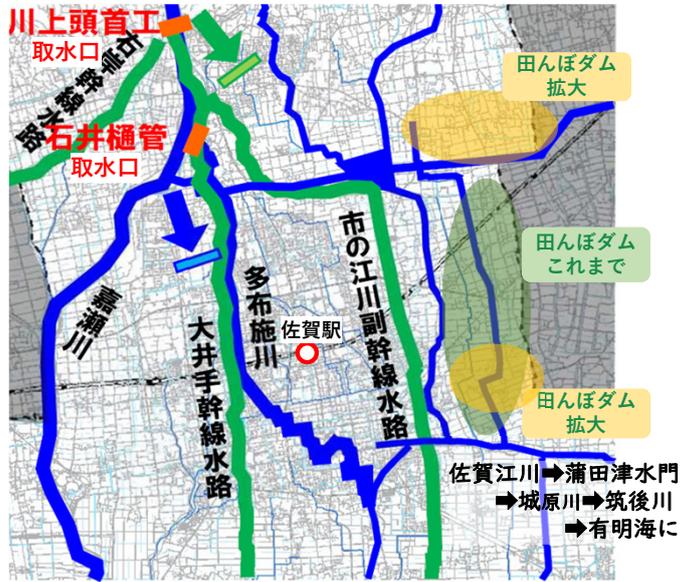


田んぼダムの拡大

これまで：176ha
 ➡今年度：**271ha**
 (25mプール約900杯容量確保)

取水の確実な停止 (市街地への流入抑制)

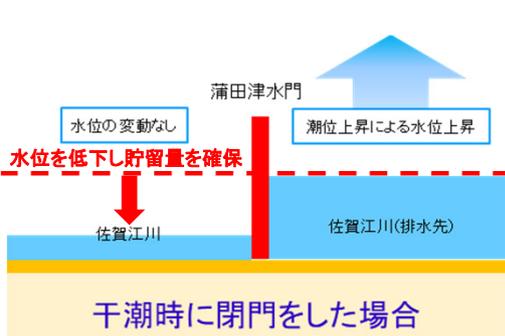
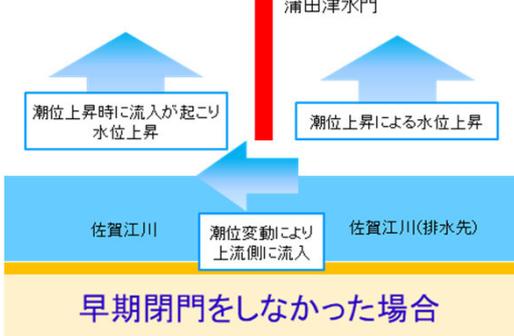
市街地を流れる多布施川や大井手幹線水路等の取水口を確実に閉め、市街地への水の流入を抑制しています。



図：取り組み等の位置図

佐賀江川の水門等の、国・県・市の連携操作

干潮時に水門等の閉操作を行い、潮位による佐賀江川等への逆流を抑え、佐賀江川や市内水路の貯留量を確保しています。令和5年度は今までより早く蒲田津水門を閉め、更に貯留量を確保しました。



様々な取り組みが効果を発揮し浸水面積が減っています。

	R5.7.10	(参考) H21.7.26
1時間降水量	45ミリ	42ミリ
3時間降水量	96ミリ	99ミリ
24時間降水量	185ミリ	187ミリ
浸水面積	210ha	330ha

尼寺排水機場の竣工 令和5年10月6日

これからの運用の効果が期待されます。



浸水情報提供システムの活用

浸水情報の活用が進んでいます。



1時間最大アクセス件数



スーパーアプリの効果もあって、アクセス数が大幅に増加しました。

取材にご協力いただきました佐賀市河川砂防課水問題対策室の田中様、大橋様に感謝申し上げます。

筑後川本格改修100周年シンポジウムを開催しました ～過去から未来へ繋ぐために～

九州最大の一級河川である筑後川の本格的な河川改修のため、筑後川改修事務所が大正12(1923)年7月に開設されてから今年で100周年を迎えました。

先人の尽力の結果、筑後川は治水・利水両面で大きく改善しましたが、地球温暖化による気候変動の影響により、以前よりも水害や土砂災害のリスクが高まっています。

ふるさとの生活を支え、暮らしをこれからも守るため、今何が必要なのか。「流域治水」に取り組み、強くしなやかな地域とするために「官」と「民」がどう手を携えていくのかについて語り合い、北部九州の豊かな未来につなげていく記念シンポジウムを開催しました。

日時：令和5年10月22日(日) 14:00～17:10 会場：久留米シティプラザ ザ・グランドホール
 主催：筑後川本格改修100周年記念事業実行委員会、筑後川本格改修100周年連絡会
 後援：(公財)筑後川水源地域対策基金 来場者：約500名

第1部 対談「筑後川と生きる 今培うべきこと」



対談の様子



東日本大震災語り部の
菊池 のどか氏



原口 新五
久留米市長



福岡を中心に活躍するタレント
中島 浩二氏
(2023年福岡市水道局公式アンバサダー)

中島さんをコーディネーターに、東日本大震災語り部の菊池さんと原口市長が対談しました。災害への備えが対談の中心となり、原口市長は久留米市の浸水対策の紹介とともに、「今まではダムなどのおかげで内水氾濫がほとんどなく恵まれていた。これからは筑後川に一気に水を流さないような市でできることをしっかり行う」と強調しました。菊池さんは東日本大震災の大津波を逃れた経験から「想定を上回る災害を念頭に置くべきだ」と訴えました。

第2部 パネルディスカッション「筑後川と描く地域の未来」



ディスカッションの様子



井上 善博
原鶴温泉旅館
協同組合長



澁谷 博昭
前東峰村長



筑後川の未来地図を
描こうプロジェクト
古賀 円氏



馬奈木 俊介
九州大学工学
研究院教授



吉田 大
筑後川河川
事務所長

中島さんがコーディネーターを引き続き務め、学識者を交えた5名でパネルディスカッションを実施しました。

井上組合長は、河川空間の有効利用として川の近くでアウトドアを行うなどの「リバーツーリズム」を提唱しました。澁谷前村長は、「森を生き返らせないと河川も生きない」と森林管理も重要と主張し、魚の住む自然豊かな川づくりを提唱しました。古賀さんは、「街と河川、官民のつながりをつくるのが大事」と話しました。馬奈木教授は、防災関連のインフラなどの価値を数値化し、その社会的な必要性を分かりやすく示すことができる新しい経済指標について紹介しました。吉田事務所長は、「次世代との連携が必要」と強調し、「筑後川の魅力をさまざまな機会を捉え発信していきたい」と話しました。

筑後川の未来地図を描こうプロジェクトの取組発表



発表の様子

筑後川本格改修100周年を機に筑後川の上流域から下流域まで繋がりを作るために立ち上がったのが筑後川の未来地図を描こうプロジェクトです。ゴミ拾いなどの環境活動を行うNPO法人ココマムの杉山さんら5名の方にそれぞれの取組みや想いを発表していただきました。発表をふまえ、市町村や上流・中流・下流といった境界をこえてつながっていく必要があるとし、同プロジェクトは筑後川ファン倶楽部として100万人の筑後川ファンを集め、筑後川の「魅力の発信・お互い様の支え愛」に取り組むと発表しました。

筑後川の未来宣言「こどもたちによる宣言」



生野さんから夢プランを受け取る
吉田筑後川河川事務所長

筑後川の1000さいのおたんじょうびおめでとーございませう。
ことしの夏休みに、わたしたちはこんな川になってほしいという絵を書きました。
今年、私が住んでいる大刀洗町でも大きな水害がありました。お父さん・お母さんや友達と一緒に遊べる川になってほしいです。みんなで書いた絵のような楽しい筑後川に、なったらうれしいです。わたしたちが大人になるまで、みなさん、よろしくおねがいします。子ども代表小学4年生生野ひなた

「筑後川の未来」絵画コンテストの受賞者を代表して、生野ひなたさんが未来宣言を行いました。こどもたちが描いてくれた夢プランが吉田筑後川河川事務所長に渡され、次の100年に向けた宣言を行い、記念シンポジウムは閉会しました。

筑後川わくわくフェスタを同時開催しました

筑後川流域内外の子どもたちを含む多くの方に筑後川の歴史や文化、産業を通じて筑後川を知ってもらいたいという目的で「筑後川わくわくフェスタ」を同時開催しました。筑後川流域に関するパネル展示やグッズの配布、物産等の販売、鶺鴒ショーや足湯など見て・触れて・味わってもらいました。

日時：令和5年10月22日(日) 11:00~17:30
会場：久留米シティプラザ 六角堂広場 来場者：約1000名



原鶴温泉鶺鴒ショー

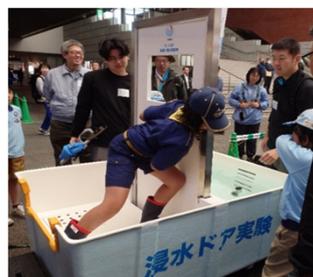


天ヶ瀬温泉足湯体験



久留米餅ファッションショー

原鶴温泉の風物詩である鶺鴒ショーを出前で披露、令和2年7月豪雨時に被害を受けた天ヶ瀬温泉から足湯体験、筑後地方に伝わる久留米餅のファッションショー等を多くの方に楽しんでいただきました。



筑後川河川事務所
浸水ドア体験

筑後川河川事務所は「浸水ドア体験」を初披露しました。ドアの前に水を貯め、浸水時には、大きな水圧がかかりドアが簡単に開かなくなることを体験してもらい、体験者に早期避難の重要性を実感していただきました。



有明海
海苔網
展示ブース

筑後川流域の山々に降った雨水が栄養塩を含んで筑後川に流れ込み、有明海にたどりつくことで海苔の養殖に適した環境となります。筑後川の上流・中流・下流の特色が展示されたブースでした。

～これからの流域治水 巨瀬川流域治水推進会議～

○令和5年7月豪雨の巨瀬川流域の被害概要

耳納山雨量観測所では、3・6・12・24時間雨量で観測史上最大雨量を記録、巨瀬川中央橋水位観測所で観測史上最高水位3.49mを記録しました。巨瀬川流域では、広い範囲で内水が発生、更に、巨瀬川は複数地点で越水し、数多くの住宅、重要公共施設、優良農地、重要道路等で浸水被害が発生しました。浸水調査結果（令和5年11月15日時点）によると、床上浸水1,050戸、床下浸水2,131戸、浸水面積1,690haでした。

また、耳納山麓では多くの土砂被害が発生。特に田主丸町竹野地区では、住宅が倒壊し人命が失われる被害を受けました。



中央橋付近の越水状況

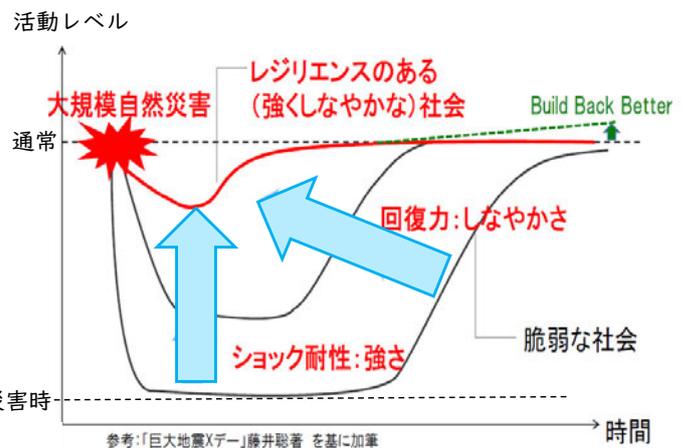


田主丸町竹野地区の土砂災害状況

○巨瀬川流域治水推進会議の開催

令和5年7月の豪雨被害に対し、巨瀬川流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体の水害、土砂災害等に対して、関係者で議論し、流域治水対策(ハード・ソフト対策)を検討しています。

対策の検討にあたり、「気候変動に伴う災害の頻発化、激甚化を踏まえ、将来を見据えた対策に取り組むこと」と「水害や土砂災害を受けても強くしなやかに生活を再開できる地域づくりを目指すこと」の2点を大切にしています。



上記の考え方をもとに、概ね5年間の目標である巨瀬川流域緊急治水対策プロジェクト取りまとめ、現在は中長期の目標となる巨瀬川流域治水対策プロジェクトを検討しています。

○会議構成

国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所
 久留米市
 うきは市
 福岡県
 農林水産省 九州農政局
 林野庁 九州森林管理局 福岡森林管理署
 気象庁 福岡管区気象台
 (学識経験者)
 九州大学名誉教授 小松利光
 (オブザーバー) ※第4回会議より参加
 九州旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部
 (事務局)
 筑後川河川事務所 流域治水企画室
 福岡県 県土整備部 河川整備課

○会議スケジュール

令和5年	8月28日	第1回会議
	9月25日	第2回会議
	10月30日	第3回会議
	11月15日	第4回会議←緊プロ公表
	12月22日	第5回会議
令和6年	1月中旬	第6回会議←流プロ公表



第4回 巨瀬川流域治水推進会議状況

～筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクトを公表～

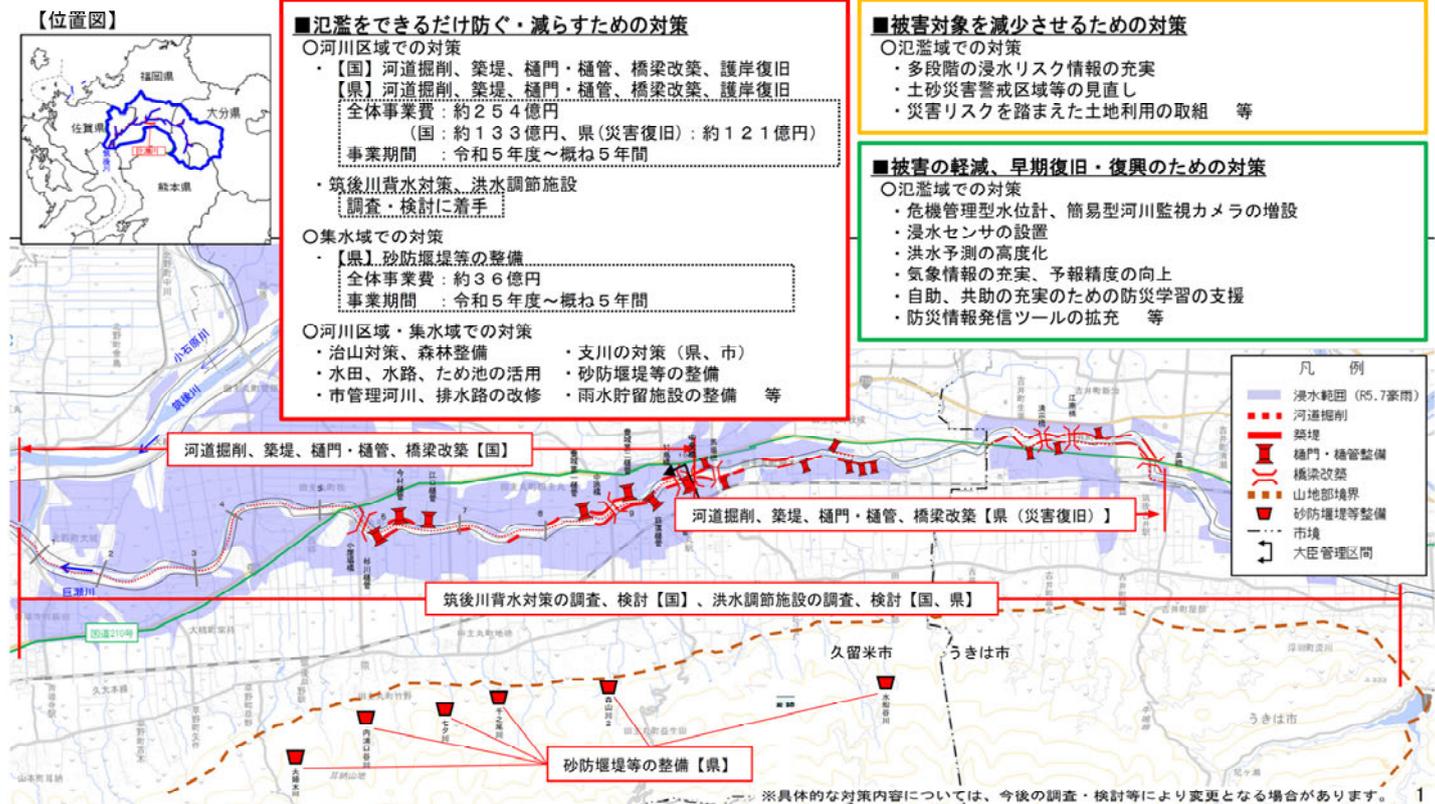
11月15日（水）第4回巨瀬川流域治水推進会議で、これまでの会議で取りまとめた筑後川水系巨瀬川流域緊急治水対策プロジェクトを久留米市長・うきは市長に報告しました。

国、県、久留米市、うきは市等で連携しプロジェクトを推進することで、令和5年7月豪雨に対し、浸水被害、土砂・流木災害の軽減を図り、強靱な地域づくりを目指していきます。

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が協働し、水害、土砂災害に対する強靱な地域づくりを推進～

- 令和5年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、国・県・市等が連携し、河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築、砂防堰堤整備等の取り組みを集中的に実施することにより、令和5年7月豪雨と同規模豪雨に対して、家屋など流域における浸水被害の軽減を図るとともに、土砂・流木災害を軽減し、強靱な地域づくりを目指す。
- 令和6年出水期に向けて、河川内の堆積土砂等の掘削や防災情報の充実等を緊急的に実施する。



筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト



各機関代表者による写真撮影

○巨瀬川流域治水推進会議の今後の動き

第5回以降の会議では、巨瀬川流域治水対策プロジェクト取りまとめ及び特定都市河川浸水被害対策法の活用に向けた議論を実施していきます。

○原口久留米市長

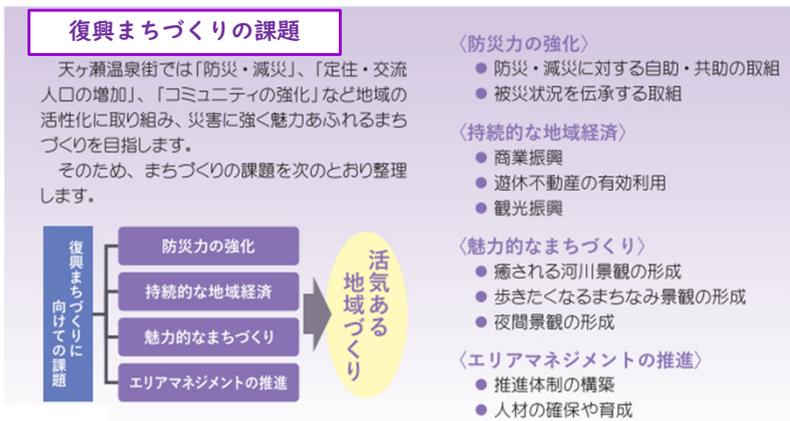
復旧・復興に向けて尽力いただいている皆様に感謝します。巨瀬川流域の被害軽減につながると期待しています。引き続き国や県などの関係者とスクラムを組んで治水対策を推進していきます。

○高木うきは市長

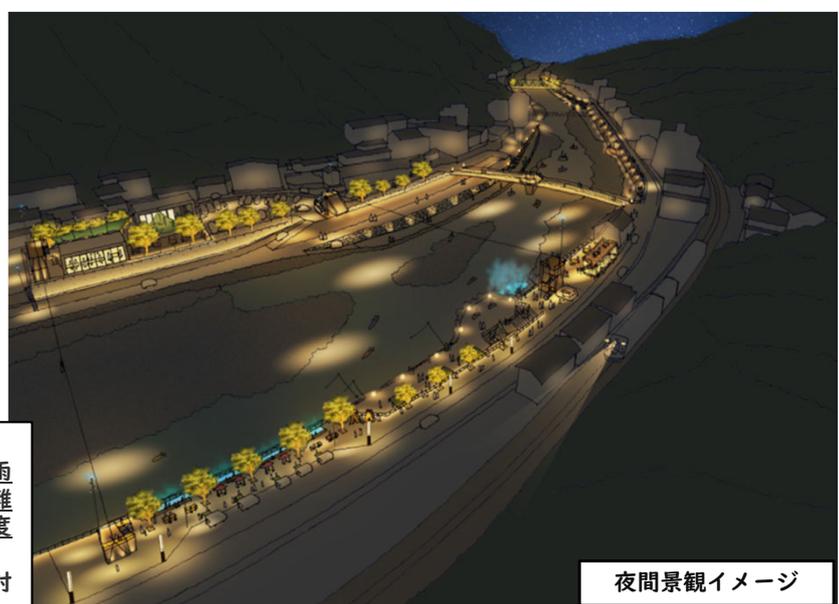
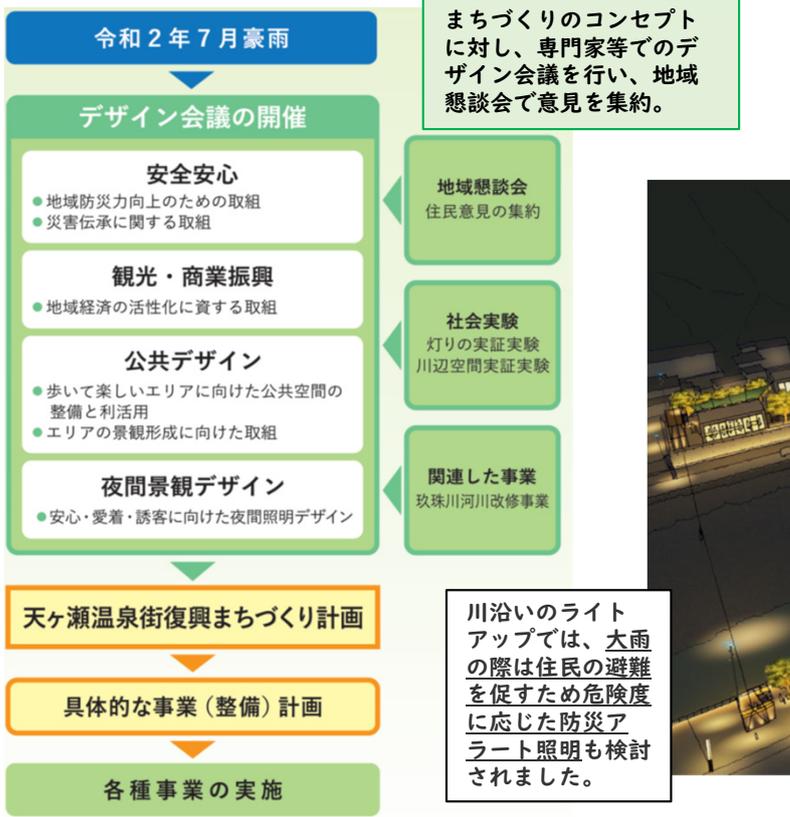
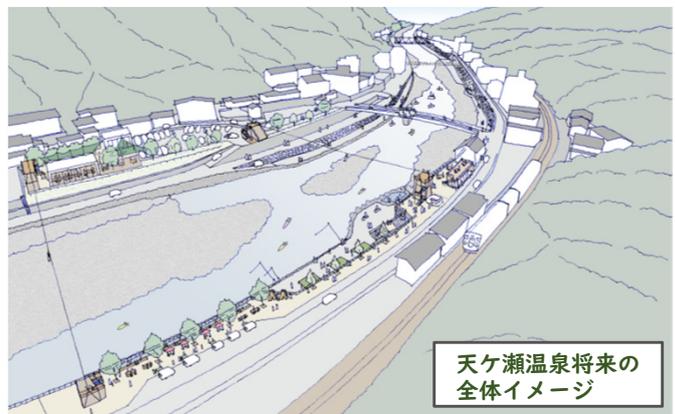
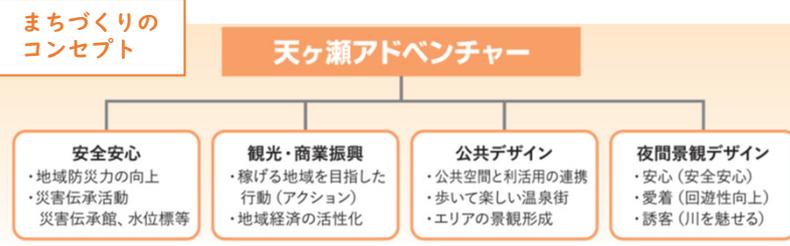
本会議を設けていただいたことに感謝します。緊急的な概ね5カ年及び今後議論される中長期に向けたプロジェクトに、うきは市もしっかり取り組んでいきます。

～天ヶ瀬温泉街復興まちづくり～

大分県日田市にある天ヶ瀬温泉は、別府や湯布院とともに豊後三大温泉に数えられ、歴史ある温泉地です。そんな天ヶ瀬温泉街は令和2年7月の豪雨による洪水で、温泉街の大部分が浸水し甚大な被害が発生しました。この災害からの復興を目指し、地域住民がまちの将来像を描いた「**天ヶ瀬温泉街復興ビジョン**」を策定しました。これを踏まえて日田市では天ヶ瀬振興局が中心となり、復興ビジョンに描かれた将来像の実現に向け課題整理や整備方針・まちのデザイン等をまとめ、災害に強いまちづくりと温泉街の活性化や賑わい創出を図ることを目的とした【**天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画**】を令和5年3月に策定しました。今回はこの【**天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画**】を紹介します。



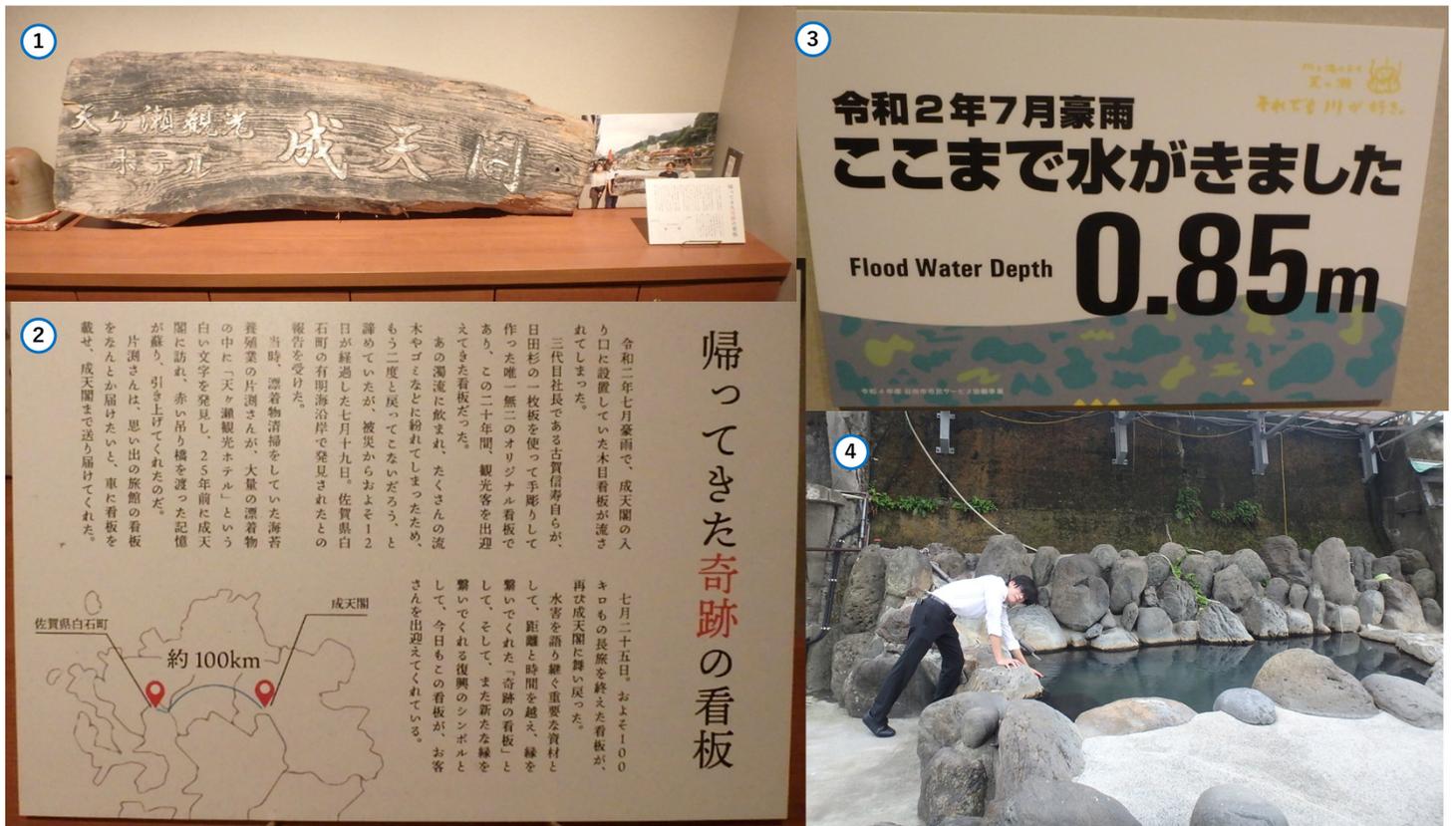
復興まちづくりに向け天ヶ瀬温泉街では防災力の強化、持続的な地域経済、魅力的なまちづくり、エリアマネジメントの推進を主な課題として整理をし、令和14年までにまちづくりの完成を目指しています。また天ヶ瀬温泉街の将来イメージとして、自然と融合したまちなみや、温泉街を一望できる場所等、自然を身近に感じ、住む人、訪れる人すべての方が魅力的に感じるまちづくりを推進します。



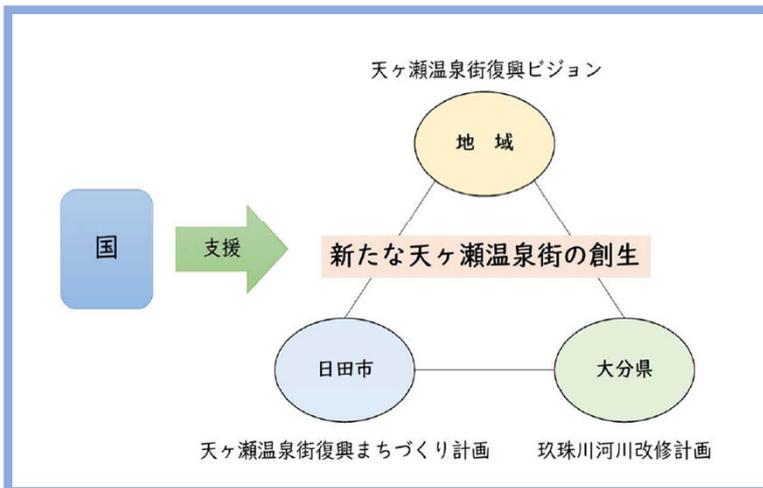
※出典元：天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画

～実際に温泉街を訪れてみて～

また、今回温泉街にある天ヶ瀬温泉成天閣へお邪魔させていただきました。ホテルの一階には令和2年7月の豪雨による洪水被害についての展示があり、当時の被害状況を生々しく感じることが出来ます。そして成天閣の従業員の方にもお話を伺い、洪水によりホテルの一階が浸水し大きな改修を余儀なくされたと教えていただきました。現在、ホテルは現在営業を再開されており、天ヶ瀬温泉の魅力を感じることが出来ました。



※写真①, ②, ③は天ヶ瀬温泉成天閣内展示の写真。④は地域で管理している共同浴場の写真。



地域と市、県、国の連携イメージ図

今回実際に天ヶ瀬温泉街を訪れてみて、温泉街では洪水被害からの復興に向けて地域で協力し過去の教訓を糧に大きく前進しているのを感じました。しかし、天ヶ瀬温泉街復興まちづくりの完成にはまだまだ多くの課題もあります。この課題を乗り越える為には市や地域だけでなく、県や国との連携が必要になります。市、県、国が一体となることで計画されている天ヶ瀬温泉街復興まちづくりを令和14年までに完成させることができると思います。

最後に、今回ご協力いただきました日田市の宮崎様、天ヶ瀬温泉成天閣様に改めて感謝申し上げます。

海の源流を守る「福岡有明海水源の森・矢部川源流の森」

令和5年9月30日「福岡有明海水源の森・矢部川源流の森 披露式典」が開催されました。

福岡有明海漁業協同組合連合会（柳川市）及び矢部川漁業協同組合（八女市）は、有明海から約30km離れた矢部川水系星野川沿い（福岡県八女市上陽町）の森を購入し、それぞれ「福岡有明海水源の森」、「矢部川源流の森」と命名しました。

森には、川や海に栄養分を含んだ水を安定的に供給し、土砂流出を防止する機能、加えて水産生物の育成場となる砂浜や干潟の砂を供給しており水産資源にかけがえのない働きをしています。両組合は、環境と資源を未来に繋ぐため「山・川・海」を一体的にとらえ、今後植樹等の活動を通じ、森林多面的機能の保全に取り組んでいくことにしています。

杉や檜等の針葉樹が多い現在の森に、落ち葉が栄養豊かな腐葉土になる広葉樹を増やし、健康な森の栄養を山から川、川から海に届けることが、将来の子供達に「山・川・海」を残す小さな一歩につながるよう、両組合は、県八女森林組合と八女市と協力し、これからの森づくりに取り組まれます。



福岡有明海水源の森・矢部川源流の森 位置図



「山・川・海」それぞれの思いを込めた看板

久留米DMOの取組 ～「田主丸・復興応援マルシェ」～

久留米DMOは、久留米市田主丸町を中心にその地域の観光地づくりに携わる団体です。地域の方々と一緒になって地域の魅力を引き出し、それを広める為に多様な事業を行いながら、田主丸町に観光で訪れたお客様の求めるものを提供できるよう日々取り組まれています。

11月26日（日）に実施された、令和5年7月に田主丸町を襲った災害から復興を応援するためのイベントには、筑後川の高水敷にある片ノ瀬公園に約1,500名が来場、地元物産販売や食事等が提供されました。イベントの売り上げの一部と、参加の皆様からの募金は「令和5年7月豪雨久留米市災害義援金」へ寄付されました。

※DMO:Distination Management/Marketing Organizationの略
地域全体をマーケティングしながらデータに基づいた観光づくりを目指す。

筑後川の高水敷にある片ノ瀬公園に約1,500名が来場



**田主丸・復興応援
マルシェ**
鮎と地のものと綱渡り
(スラックライン)
11/26 (日) 10:00 ~ 15:00
片ノ瀬公園

出店リストは
裏面を掲げてね

主催: 田主丸町の観光振興団体「久留米DMO」
共催: 「筑後川フェスティバル実行委員会」
協力: 「筑後川河川事務所」「久留米市」

片ノ瀬の歴史にちなんだ『鮎の塩焼き』行列ができ200匹が1時間半で完売！
漁協さんも来年は400匹準備！と笑顔



晴天に恵まれ
マルシェにぞくぞくと集まる皆さん



片ノ瀬出張所製作の河川の伐採木の『スウェーデントーチ』行列ができ配布完了！



「復興応援ブース」
被害状況やボランティアの取組を紹介
行政書士による無料相談と合わせて、
多くの方に来ていただきました。



『スラックライン』で青空を舞う選手。
子ども達は、体験用の低いラックで挑戦。



募金活動も実施



行政書士による無料相談



大学生ボランティアによるアンケート
(社会実験の調査)
来年もやって欲しいなど今後への期待の
声を頂きました。



原口久留米市長にイベントの売り上げの一部と皆様からの募金を
「令和5年7月豪雨久留米市災害義援金」としてお渡ししました。

今回の取材でご協力いただきました『久留米DMO』の矢動丸様に改めて感謝申し上げます。

お問い合わせ先

< 流域治水企画室 >

筑後川河川事務所

住所：福岡県久留米市高野1丁目2番1号

Tel:0942-33-9131

E-mail:qsr-chikugo-hp@mlit.go.jp



< 水のたまり場 > (筑後川河川事務所管内 各出張所)



大川出張所

住所：大川市大字向島2631-2

Tel : 0944-86-2516



諸富出張所

住所：佐賀市蓮池町大字小松三本杉250

Tel : 0952-97-0084



久留米出張所

住所：久留米市高野1丁目2-27

Tel : 0942-32-7082



片ノ瀬出張所

住所：久留米市田主丸町菅原2461-5

Tel : 0943-72-3204



吉井出張所

住所：うきは市吉井町橘田316-3

Tel : 0943-75-2300



日田出張所

住所：大分県日田市中ノ島町608-14

Tel : 0973-23-5291



矢部川出張所

住所：みやま市瀬高町上庄字松土居470

Tel : 0944-63-2520



筑後川防災施設

「くろめウス」

住所：久留米市新合川1丁目1-3

Tel : 0942-45-5042



筑後川河川事務所のPR動画公開中
「あなたも久留米にくるっば」



九州地方整備局
YouTube

